

No. 333 発行
 天理教山口教務支庁
 〒754-0001
 山口市小郡上郷1569番地1
 TEL 083-972-5004
 FAX 083-972-5003
 MAIL kyomu@honey.ocn.ne.jp

10月本部お勤め時間

日	朝	夕
1~15	6:00	6:00
16~30	6:15	5:45

はじめのことば

熊毛支部長

末永俊和



朝晩はようやく過ごしやすくなり
 りましたが、日中はまだまだ
 残暑厳しい暑さの続く毎日であ
 ります。

それぞれに体調管理には十分
 に気を付けたいと思います。

今年はその半ばには、道の先
 達となられます真柱さまの身
 上をお見せ頂き、梅雨が明けて

からは、例年になく猛暑、各地
 で毎日三十五℃六℃七℃といっ
 た事が当たり前のような暑さ厳
 しい年となりました。

そして、七月の半ばには西日
 本豪雨災害による大きな災害、
 今も復旧作業が続いています。

九月に入り二十五ぶりだ
 といわれる大型の台風が四国・
 近畿・関東に上陸し、又、少し
 前にも同じ経路で台風二十号と
 続いて大きな被害をもたらしま
 した。

復旧の最中、直ぐと北海道で
 震度七の大きな地震が襲い大き
 な被害がおきました。

被害にあわれました皆様には、
 お見舞いを申し上げますと

共に、一日も早い、復旧・復興
 へと進まれますよう心からお祈
 り申し上げます。

今、それぞれの立場で、陽気
 ぐらしに向けて親神様の深い思
 い、思し召しを思索し、つとめ
 なければならぬ時なんだと思
 います。

子どもの教会の信者宅にて
 も、この度の西日本豪雨災害に
 よる土砂崩れの被害が数件あり
 ました。

幸いにも、人には被害は及び
 ませんが、駐車場にして
 いる所に木が倒れ、土砂が流失、
 又、法面の土砂崩れといった被
 害でした。

相談を受けて、災救隊も奨め

ましたが、この災害を機に、普
 段元気であれば顔も合やす事
 無い家族・親族が力を合わせて
 復旧へと勤められました。

完全ではありませんが、時間
 をかけてこれからも家族・親族
 が一手一つになって勤められる
 そうです。

これを契機に、家族・親族の
 絆が益々深まり、互いに連絡を
 取り合い、顔を合わす機会が増
 えるようになっておきており
 ます。この度のお見せきたい
 た節は、家族・親族が一手一つ
 になる事だったのかなと思いま
 す。

併せて、お見せいただいた事
 は我が事と受けとらせていただ
 いて、自教会もようぼく・信者
 が真剣に一手一つになって、陽
 気ぐらしへとなるように勇ませ
 ていただかなければならぬ時だ
 と思っております。

修理巡教について 後藤成実先生 10月御巡教日程【宇部支部】

5日 (金)			厚南 分 14:00～	興風 分 15:30～
6日 (土)	愛真玉 分 9:00～	福部 分 10:45～	周豊 分 14:00～	菅麻 分 15:30～
7日 (日)	永登浦 分 9:00～	福宇部 分 10:45～		

布 教 部

維新塾
チャレンジ野宿布教

八月二十八日～二十九日維新塾としてはじめての野宿布教を実施しました。この動機は、布教者研修会の講師、松田令子先生の講話で、野宿布教から教会を次々にご守護頂いたというお話。また、維新塾基調講演で、岩国支部布教部長の井上清宣先生は、天理大学時代にこどもおぢばがえりの伏せ込みとして、先ず、七日間の野宿布教を行ってから勧誘にまわると、その周辺から約百名の子供たちを毎年のようにお連れすることができたという事。何かそこに神様にお働き頂けるヒントがあるので、と感じ、面白い、維新塾でやってみようという事になりました。

た。

参加者は、岩田光弘、松井裕二、田島靖、吉村和子(八十才)、迫野真次の五名、実動に際して下関支部から七名合流し総勢十二名の参加となりました。野宿場所は、参加者の松井さんが、若い時野宿をしながら下関で単独布教を行った場所。金毘羅公園にしました。

私も下関で布教の経験があり、若い時の布教地に帰ると、若いころの記憶がよみがえり、心から元気になれる気がしました。何かの時に、布教の原点に



戻ることも大切だと感じました。この野宿布教の内容は、(戸別訪問、神名流しと路傍講演)の二セットの布教三昧、およびお世話になった公園のごみ拾ひのきしんで、まさに中身の濃い布教実動合宿となりました。

金毘羅公園での野宿では、すぐに蚊の襲撃をうけ、用意した蚊取り線香で八方向の煙の境界をつくり、蚊の襲撃はまぬがれましたが、その煙でなかなか眠れませんでした。一番楽しかったのは、一日の汗を公園トイレの手洗いの水で行水するとき。五十才過ぎたおっちゃんたちが全裸になり少年のように騒いでいる様子を見たときでした。

教務支庁への帰り道は、暑さと疲れと睡眠不足から、睡魔に襲われ道を間違えながらの運転でしたが、親神様・教祖にお喜び頂けた野宿布教になったものと確信しています。

記・迫野真次

福祉厚生部

第三十六回

おつとめまなび総会



第三十六回福祉厚生部おつとめまなび総会を八月三十日教務支庁を会場につとめさせて頂きました。参加人数は四十二名でした。

十時より厚生部長の手に合わせて礼拝後、座りづとめ・前半・

後半とおつとめをつとめさせて頂き、引き続き式典の部に移り、教区長代理として堀田書記長先生の挨拶を頂き、おつとめの大切さについてお話下さいました。続いての記念講話は、池田部属帝元分教会長・基礎講座講師・元天理高校教諭の船渡泰司先生の、理の親に導かれて節目のたびに道すじをつけて頂いたとの感動のお話でした。いつまでも心に残っています。

その後大会議室に会場を移して懇親会をさせて頂きました。和やかにビンゴゲームをし、来年新しい方をお連れして、又参加する約束をして解散しました。

記・末村節夫



青年会

大納涼祭

岩国・周東支部巡回行事



八月三十一日に青年会主催の大納涼祭を教務支庁を会場に開催しました。学生さん、女子青年さん、少年会員と青年会の枠を越えて、バーベキューと花火で楽しく夏を締めくくりました。



また、九月十二日には、岩国周東支部合同行事として、玖珂駅周辺にてをいがけ活動をしました。雨の中でしたが、今月はをいがけ強調月間という事もあり、神名流し、個別訪問をさせて頂きました。教区委員長と副委員長も来てくださり、四人で勇んでつとめることができました。

有難うございました。

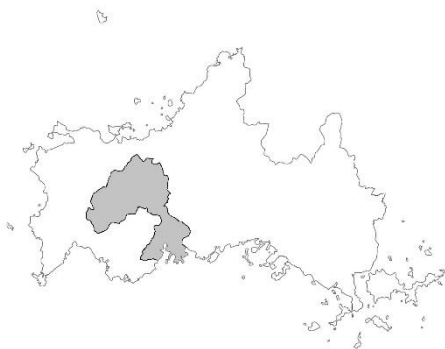
記・岩竹証平

◎創立百周年記念
第九十四回天理教青年会総会

10/28
俺たちの
百周年を
共に体感しよう。



@Yamaguchi
Kibiru
山口支部



山口支部は平成の支部合併に伴い、旧美祢支部と旧南山口支部が一緒になって発足し、教会数は 24ヶ所となりました。合併前の支部活動よりは、各部各会、やりがいが出た事と感じます。

山口市阿知須、秋穂辺りは瀬戸内であり、美祢はカルスト台地がありますように、支部の範囲が大変広がりました。そんな中先輩先生方が活動されて来られた事を今に繋ぎ、努めさせて貰っているところでございます。



【婦人会】

児童養護施設清光園にひのきしんに行って居ります。園は以前旧小郡町にあり、家族連れで除草、窓拭き等を皆でしていた事を思い出します。今日では山口市由良に移転しています。それを今に繋ぎ活動を継続しています。婦人会員さんが、楽しみながら窓拭き、雑巾縫い等、その時に希望される事を行っています。引き続き母親講座を開催する等、女子会的な感じで親睦を深めています。



【青年会】

ハートクリーンからの活動を受け継ぎ、毎月の活動として、にをいがけ、ハートクリーンと交互に行っています。地道な活動ですが、「継続は力なり」と言うようにコツコツと行っています。ひのきしんデー、にをいがけデーの支部開催行事には準備等を引き受けてくれています。

